

令和4年度 古文書講座のご案内

古文書の読解は、ナマの歴史に触れる第一歩です。郷土に伝わる古文書の読み方を学び、講座の仲間と共に、信濃の歴史について、学習を深めてみませんか？ ※新型コロナウイルス等の状況により日程等が変更になる場合があります。

1 講座内容 (今年度も初級と中級を兼ねて受講する事はできません。上・中級の組み合わせは可能です)

講座	内 容
初級	古文書はまったく初めてという方を対象に、まず、第1・2回で、くずし字辞典の使い方、人名、かななど古文書の基礎的な読み方、文書の書き方などを学習します。第3～5回では近世や近代の文書で、庶民の日常生活に関わる文書等から比較的読みやすい文書を読んでいきます。 過去5回以上程度受講された方は中級に挑戦しましょう。
中級	ある程度古文書に親しみ、もう少し本格的に読んでみたいという方を対象に、生活や文化に関連する様々な文書を実際に読みながら、古文書読解の様々なポイントを実践的に学びます。前半は近世文書を、後半にやや難解な中世文書につなげていきます。
上級	ある程度古文書に親しみ、もう少し本格的に読んでみたいという方を対象に、生活や文化に関連する様々な文書を実際に読み、古文書読解の様々なポイントを実践的に学びます。やや難解な近世文書を中心に読み、文書の背景等について考えを深めます。
ティーンズ	大学生以下、中学・高校生の古文書初心者が対象です。歴史に興味があり、文字を読んでみたいという意欲のある学生であれば大歓迎です。史料の読み方をだけでなく、調べ方や文書を手にとった扱い方も学びます。

2 講座日程・募集人員・講師 ※注意 午前中のスタートは10:00からです(除ティーンズ)

講座名	日 時	人 数	講 師
初級A (休日)	① 6月5日(日)② 7月3日(日)③ 8月7日(日) ④ 9月4日(日)⑤ 10月2日(日)⑥ 10月30日(日) 計6回 午前 10:00～12:00 (第6回のみ 13:30～)	30名程度	中野亮一 大森昭智 花岡康隆 鈴木 実
初級B (平日)	① 6月9日(木)② 7月14日(木)③ 8月4日(木) ④ 9月22日(木)⑤ 10月6日(木)⑥ 10月30日(日) 計6回 午前 10:00～12:00 (第6回のみ 13:30～)		
中級A (休日)	① 6月4日(土)② 7月2日(土)③ 8月6日(土) ④ 9月3日(土)⑤ 10月1日(土)⑥ 10月29日(土) 計6回 午前 10:00～12:00 (第6回のみ 13:30～)	30名程度	小野和英 村石正行
中級B (平日)	① 6月9日(木)② 7月14日(木)③ 8月4日(木) ④ 9月22日(木)⑤ 10月6日(木)⑥ 10月29日(土) 計6回 午後 13:30～15:30	30名程度	
上級	① 5月28日(土)② 6月25日(土)③ 7月23日(土) ④ 8月27日(土)⑤ 9月24日(土)⑥ 10月29日(土) 計6回 午前 10:00～12:00 (第6回のみ 13:30～)	30名程度	元長野県史 常任編纂委員 尾崎行也氏
ティーンズ講座	① 3月24日(金)② 3月25日(土)③ 3月28日(火) ④ 3月29日(水) 午前 9:30～12:00	10名程度	村石正行

※初級、中級ともA・Bの講座は同一内容。初・中級はひとり1講座のみ履修可能。※初級は初心者対象。中級は初級を5年程度以上履修した方もしくは古文書学習経験者が望ましい。上級は中級講座受講も可能。ティーンズは中・高・大学生を対象とする。フォローアップ講座は、古文書学習のまとめを全員でおこなう教養講座。

※なお、当館では新型コロナウイルス感染症拡大防止のために各講座上記のような人数制限、換気、手指消毒等を行った上で実施いたします。参加者の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

3 申込み受付 2022年4月14日(木)～(定員になり次第締め切り)

4 申込み方法 別紙の申込書に、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号、受講希望講座名をご記入の上、郵送・FAXでお送りいただくか、ご持参ください。またHP上から申し込みもできます。

※受講料は各講座の第1回講座の際に納入いただきますので申込書に同封しないでください。
1講座1,000円 受理された方には受講票を送りますのでご確認ください。

5 申込先 県立歴史館文献史料課 〒387-0007 千曲市屋代260-6 FAX 026-274-3996

6 お知らせ 全くの初心者対象の古文書入門Web講座動画(10分以内の短い動画数本)を公開中です。初級受講希望者の方はぜひご覧ください。

(アドレス: <https://www.npmh.net/event/webkouza.php>) QRコード→



令和4年度古文書講座シラバス（全6回）

初級

目標 「簡単な古文書の文字を8割以上読めるようになる」

対象 初心者（経験5年以下）の方を対象とします。

初回は辞書の使い方など初歩的なガイダンスです。

1回（中野講師）「古文書の世界に踏み出そう」

古文書に初めて触れる方の講座です。ようこそ、古文書の世界へ！

①まずは江戸時代独特の表現になれるところから始めましょう。

②自分で調べる 辞書あれこれ 部首（偏や旁）から：『くずし字用例辞典』

最初の一筆目から：『くずし字解説辞典 普及版』

③文字が読めれば歴史の世界が広がる 例えば、長沼城、秩父事件・・・

④自習教材 『五人組合帳』から全村民163人の名前がわかる

2回（大森講師）「善光寺のお話を読もう」

古文書でよく使われるかな文字の表現について学習をします。今年御開帳を迎える善光寺についての簡単なお話を読んでみましょう。

※インターネットが使える方は入門web講座を視聴しておいてください。

3回（大森講師）「藩の記録から江戸時代の出来事を読み解こう」

明治時代に写した小諸藩の記録の中から依田家の関わった江戸時代の出来事についての簡単な文書を読みましょう。典型的なくずし方の文字を読みながら、古文書の表現に慣れていくようにします。

4回（花岡講師）「江戸時代の地方文書を読もう」

江戸時代の村に関する文書の解説を通じて、古文書によく出てくる表現について学びましょう。

5回（鈴木講師）「宗門人別改帳（しゅうもんになべつあらためちょう）を読もう」

第1～4回までで学んだ、仮名や人名、古文書表現の読み方の知識を使って、江戸時代の住民基本台帳である宗門人別改帳を読んでみましょう。また、この文書から、江戸時代の宗門（宗派）の意味を考えます。

古文書フォロアップ講座

対象 初・中・上級講座共通のまとめの講座です。

1年間学んできたことを思い出しながら受講しましょう。とくに、古文書講座は単に文字を読むことだけが目標ではありません。むしろそこから何を学び取りることができるか、が大切です。この講座は、「古文書を読む」ことからさらに「社会を読み解く」ことまでを思索するための「教養講座」です。

※ティーンズ講座受講申込者の方も受講可能です。

講師 笹本 正治・村石 正行

日時 令和4年10月29日（土）13:30～15:00 上級・中級A・B

10月30日（日）13:30～15:00 初級A・B（ティーンズ）

中級 目標「テキストの文字の解読がほぼできる。内容についてある程度自力で把握する」
対象 古文書初級講座を5年以上受講した方・意欲のある方

1回（小野講師） 「近世地方文書を読む 1」 中級講座の3回分の時間を頂戴したので、一紙ものと冊子ものを合わせて読んでいきたいと思ひます。松本藩大町組清水家文書を中心に「村の生活」について史料の背景を交えながら楽しく古文書を読んでいきたい。 使用辞書：『くずし字用例辞典』（東京堂出版）
2回（小野講師） 「近世地方文書を読む 2」 中級講座の2回目・3回目は受講者の皆さんに読んでいただけるように工夫をしたいと思います。文書が読めなくても気にしないでください。文書が何を言っているのか皆で考えましょう。
3回（村石講師） 「修験道の文書を読む」 修験道本山派大井法華堂のなかから、檀那をめぐる先達職・年行事職に関わる文書を読んでみましょう。
4回（小野講師） 「近世地方文書を読む 3」 中級講座の1・2回目を踏まえて新しい文書を読みます。
5回（村石講師） 「近世大名文書を読む」 県立歴史館には藩政に関わる大名文書がいくつかあります。信州の近世大名の発給した文書を読んでいきましょう。今回は信州の南北の藩である飯山藩堀氏・飯田藩脇坂氏を扱ってみます。

上級 目標 「難解な日記や書状を読み解読と解釈ができるようになる」
中級以上のレベルをもっている方または意欲のある方

1回（尾崎講師） 上田城下町問屋日記（抄） 当日配布分の資料を区分け分担して解読をすすめる。 終了前、次回分の資料を配布し解読担当者を決める。
2回（尾崎講師） 上田城下町問屋日記（抄） 前回終了前に配布した資料の担当者による解読発表。 終了前に次回分の資料を配布し解読担当者を決める。
3回（尾崎講師） 上田城下町問屋日記（抄） 第2回と同一方式
4回（尾崎講師） 上田城下町問屋日記（抄） 第3回と同一方式
5回（尾崎講師） 上田城下町問屋日記（抄） 前回終了前配布資料の担当者による解読発表。